

日時：二〇一〇年五月一五、一六日土曜、聖日第一、二礼拝

主題『原因追及のワナ』 聖書箇所：マルコ伝九章一六、二九節

「9 イエスが、「何を議論しているのか」とお尋ねになると、「10 群衆の中のある者が答えた。「先生、息子をおそばに連れて参りました。

この子は霊に取りつかれて、ものが言えません。」8 霊がこの子に取りつくと、所かまわず地面に引き倒すのです。すると、この子は口から泡を出し、歯ぎしりして体をこわばらせてしまいます。この霊を追い出してくださるようにお弟子たちに申しましたが、できませんでした。」6 イエスはお答えになった。「なんと信仰のない時代なのか。いつまでわたしはあなたがたと共にいられようか。いつまで、あなたがたに我慢しなければならぬのか。その子をわたしのところに連れて来なさい」

20 人々は息子をイエスのところに連れて来た。霊は、イエスを見ると、すぐにその子を引きつけさせた。その子は地面に倒れ、転び回って泡を吹いた。21 イエスは父親に、「このようになったのは、いつごろからか」とお尋ねになった。父親は言った。「幼い時からです。」

22 霊は息子を殺そうとして、もう何度も火の中や水の中に投げ込みました。おできになるなら、わたしどもを憐れんでお助けください。」

23 イエスは言われた。「『できれば』と言うか。信じる者には何でもできる」24 その子の父親はすぐに叫んだ。「信じます。信仰のないわたしをお助けください」25 イエスは、群衆が走り寄って来るのを見ると、汚れた霊をお叱りになった。「ものも言わず、耳も聞かえさせない霊、わたしの命令だ。この子から出て行け。二度とこの子

の中に入るな」26 すると、霊は叫び声をあげ、ひどく引きつけさせて出て行った。その子は死んだようになったので、多くの者が、「死んでしまった」と言った。27 しかし、イエスが手を取って起こされると、立ち上がった。

#### (聖書解説)

A (前半の話) 弟子たちは人々と、どうして癒されないのか、という) ( ) や理由について議論をしていた。イエスはその現状を嘆かれる。

B (後半の話) イエスが親から引き出したのは) ( ) であった。からし種一粒ほどの信仰でも、有れば力がある。信仰は選り取ることであり、心の向きを示している。

C (結果) 息子は) ( ) され、立ち上がり歩みを始めた。

D (学び) ( ) の経験やトラウマに縛られた発想に陥っていると、変わることが信じられなくなってしまう。

E (学び) 今まで信仰がなかったとしても、) ( ) に信じるなら、神様の恵みと力を体験していく歩みがひらかれる。

A 原因 B 信仰 C 癒 D 過去 E 素直

メッセージポイント

なぜできないのかを問い続ける、

（ ）  
（ ） 律呪縛から抜け出よう。

参照（マルコ伝6:9）イエスが、「何を議論しているのか」とお尋ねになると、……7:6 イエスはお答えになった。「なんと信仰のない時代なのか。いつまでわたしはあなたがたと共にいられようか。いつまで、あなたがたに我慢しなければならないのか。」

参照（マルコ伝4:1）それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、32 蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」

KCCモットー 『できない理由を探すな！』

どうしたらできるのかという

（ ）  
（ ） 的な問いを出そう。

参照（28）イエスは言われた。「『できれば』と言うか。信じる者には何でもできる」ヤ その子の父親はすぐに叫んだ。「信じます。信仰のないわたしをお助けください」

参照（マルコ伝10:27）イエスは彼らを見つめて言われた。「人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。」